

当院で妊婦検診・出産を希望される妊婦さまへ

ご妊娠おめでとうございます。

当院では皆様方の妊娠・出産をサポートし安全な御出産を目指し医師・助産師・看護師一同、努力いたしております。

妊娠・出産は、人類誕生以来、数十万世代において自然に営まれてきた現象です。

当院では、不必要な医療介入をできるだけ避け、自然分娩を基調とした出産を心掛けております。しかしながら、過度に自然分娩に固執するのではなく、安全に配慮し、分娩監視や経膈分娩が困難な場合には、緊急で帝王切開を行う体制も整えております。

周産期医療の進歩や妊婦さんの自己管理の向上により、妊産婦死亡数は35名（平成19年）まで低下しました（参考：昭和25年には4117名死亡、昭和55年には323名死亡）。我が国の妊産婦死亡率は、世界一低率です（平成18年）。一方、乳児死亡数は、我が国では2828名（平成19年）です。この中には、先天的異常をお持ちになって産まれた赤ちゃんや早産で産まれた赤ちゃんも含まれます（参考：昭和25年には140515名死亡、昭和55年には11841名死亡）。乳児死亡率も世界一低率です。しかし、出産で約30名のお母さんが亡くなり、約3000名の赤ちゃんが死亡している現実があります。さらなる医療の進歩、救急搬送のシステムの改善などの医療者側の問題とともに、妊娠中に病的状態にならないよう予防を心がけるといった妊婦さん側の努力も大変大切です。

当院では、順調な経過の妊婦様には、自然分娩を目指してサポートしていきたいと考えておりますが、元気な赤ちゃんを抱いて、お母さんも元気に退院していただく事を最終目標とし、安全に十分留意し、産科医療に取り組んで参ります。

